

6. E 科目（英語関連科目）の履修について

国際高等教育院では、学生の英語によるコミュニケーション力の向上と国際性の涵養を図るため、全学共通科目で開講されている科目の中から、英語力強化に資すると考えられる科目を選び、E 科目として指定しています。

外国語として「英語を学ぶ」だけでなく、「英語で学ぶ」ことはみなさんの英語力を一層向上させ、国際的な学問研究や社会の様々な分野で活躍することにつながるものと考えますので、みなさんの積極的な受講を期待します。

(1) E 科目のカテゴリー

E 科目には次の3つのカテゴリーがあります。履修の際の参考にしてください。

E1	英語テキストの講読を中心的な内容とする科目
E2	英語を使用言語として実施される科目
E3	英語スキルの向上を目的とする科目

E 科目に指定されている科目は、「Ⅱ. 全学共通科目授業科目」の「4. 全学共通科目授業一覧」(p.99～)の「E 科目指定」欄にカテゴリーが記載されています。KULASIS のシラバス検索ではカテゴリーを指定して検索することが可能です。一覧にある科目のほか、夏・冬に集中講義が開講されることがあります。

(2) 履修上の注意事項

- ① E 科目は、E 科目として独立した科目群を構成するものではなく、人文・社会科学科目群や自然科学科目群等の各科目群の科目として開講されています。従って、単位を修得した場合には、原則開講されている科目群の単位として取り扱われます。平成 25～27 年度学部入学者が履修した場合は、開講されている科目群・分野に応じて科目群が読み替えられ、平成 24 年度以前学部入学者が履修した場合は「旧群」欄の科目として取り扱われます (p.214～参照)。
- ② 平成 28 年度以降学部入学者が外国語科目群で英語を選択する場合、修得すべき E 科目の単位数が設定されます。E 科目のカテゴリーや科目の指定、および卒業に必要な単位数は学部により異なりますので、「Ⅳ.各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」(p.172～)で確認してください。
- ③ 「全・英」の表示がある E1・E3 科目及び ILAS Seminar-E2 は予備登録を経て履修登録してください。予備登録の結果、定員に達しなかった「全・英」の表示がある E1・E3 科目については、予備登録した学生の履修を許可した上で、空き定員について先着順で申し込みを受け付けます。また、定員に達しなかった ILAS Seminar-E2 は、予備登録した学生の履修を許可した上で、初回授業時に空き定員について申し込みを受け付けます。
- ④ ILAS Seminar-E2 以外の E2 科目では人数制限を行いますので、KULASIS の「履修・人数制限」ページで予備登録してください。予備登録で定員に達しなかった科目は先着順で申し込みを受け付けます。
なお、E2 科目の履修について、TOEFL ITP で一定以上のスコアを修得していること等の履修条件を設定する場合があります。

(3) 「全・英」の表示がある E1、E3 科目

- ① 「外国文献研究 (全・英) -E1」や「クリティカルリーディング I (全・英) -E3」のように、科目名に「全・英」の表示がある E1、E3 科目を履修するには事前申込が必要です。
- ② 全て 2 回生以上の学部生を対象に開講されます。
- ③ 平成 27 年度以前入学で卒業に必要な英語の単位が不足している学部生については、「全・英」の表示がある E1、E3 科目を履修し、単位を修得することによって英語の単位を充足することが可能です。(p.214～参照)
- ④ 大学院生は「全・英」の表示がある E3 科目を履修できます。また、大学院共通科目群においてオーラルプレゼンテーション及びセミナーパーティシペーションに相当するアカデミックプレゼンテーション及びアカデミックディスカッションが開講されます。「全・英」の表示がある E1 科目を履修登録することはできません。
- ⑤ 「外国文献研究 (全・英) -E1」は、同一開講期・異なる開講期どちらにおいても複数履修が可能です。ただし、同一教員が担当する授業を複数履修した場合は同一授業とみなされ、修得年度・修得期の早いもの 1 つのみ卒業に必要な単位として認められます。

- ⑥ 「全・英」の表示がある E3 科目は学術的言語技能の向上を目的とする科目です。コンセプトは、複数の技能の育成を目的とした「技能統合型」コースです。科目と技能領域、履修者定員は、以下の通りです。

科目	技能領域	1クラスあたりの定員
セミナーパーティシペーション (Seminar Participation)	リスニング&スピーキング	30名
クリティカルリスニング (Critical Listening)	リスニング&スピーキング リスニングの自律学習中心	100名
リスニング&ノートテイキング (Listening and Note Taking)	リスニング&ライティング	30名
オーラルプレゼンテーション (Oral Presentation)	リーディング&スピーキング	30名
クリティカルリーディング (Critical Reading)	リーディング&ライティング リーディング中心	40名
リサーチライティング (Research Writing)	リーディング&ライティング ライティング中心	20名
テストテイキング (Test Taking)	総合的四技能	40名

- ⑦ オーラルプレゼンテーションでは上級クラスが開講されます。

- ⑧ 「全・英」の表示がある E3 科目は、担当教員にかかわらず同一科目の単位を複数修得した場合、通常の同一科目判定が行われ、修得年度・修得期の早いもの1つのみ卒業に必要な単位として認められます。「オーラルプレゼンテーション」と「オーラルプレゼンテーション上級」は同一科目として取り扱われます。なお、科目名に I 又は II がつく「クリティカルリーディング」及び「テストテイキング」は、それぞれ I と II が別科目であり、いずれも卒業に必要な単位として認定されます。

《「全・英」の表示がある E1、E3 科目の事前申込について》

平成 28 年度以降学部入学者については、2 回生前期に 1 科目、2 回生後期に 1 科目修得することを基本とします。3 回生以降は、上限なく登録が可能です。

申込手順・方法	学部 2 回生は、申込期間 1、2 にそれぞれ申し込むことができます。一開講期に抽選で当選する科目は 1 科目です。申込期間 1 に当選した学部 2 回生は申込期間 2 に申し込みすることはできません。進級・コース分属等のため、学部 2 回生後期に 2 科目めの「全・英」の表示がある E1、E3 科目の履修を希望する学部 2 回生は、10 月 16 日 (水) 13:00 までに全学共通科目学生窓口へ申し出てください。(1 科目めは事前申込をしてください。) 平成 28 年度以降入学で 3 回生以上の学部生、及び平成 27 年度以前入学で卒業に必要な英語の単位を充足していない学部生は、申込期間 2 に申し込むことができます。	
予備登録ページオープン	【前期】3月15日(金)	【後期】9月11日(水)
1) 申込期間 1: アンケートシステム (学部 2 回生のみ)	【前期】3月25日(月) 8:00 ～ 28日(木) 18:00	【後期】9月16日(月) 8:00 ～ 19日(木) 18:00
抽選・結果発表	抽選終了後、結果を KULASIS の外国語予備登録ページに掲載します。抽選に外れた学生は、次の申込期間 2 で申し込みをしてください。	
2) 申込期間 2: KULASIS	【前期】4月1日(月) ～ 4日(木) 各日 8:00 ～ 18:00	【後期】9月24日(火) ～ 27日(金) 各日 8:00 ～ 18:00
抽選・結果発表	各日抽選終了後、結果をメールで送信します。結果は KULASIS でも確認できます。落選した場合、第 1 回目と同じ方法で以下に従って第 2 回以降に申し込んでください。	

先着順申込受付期間 1	【前期】4月6日(土) 7:00 ～ 16日(火) 13:00	【後期】9月30日(月) 17:00 10月1日(火) 7:00 ～ 9日(水) 13:00
	抽選の結果、定員に空きがあるクラスについては、この期間に先着順で申し込みを受け付けます。大学院生が「全・英」の表示がある E3 科目の履修を希望する場合は、この期間から申し込みをしてください。	
履修登録期間	【前期】4月15日(月)・16日(火)	【後期】10月8日(火)・9日(水)
	KULASIS の履修登録候補科目設定画面に、先着順申込で履修が許可された科目が表示されます。予備登録・先着順申込ではまだ履修登録は終わっていません。履修登録期間に必ず確定してください。	
先着順申込受付期間 2	【前期】4月19日(金) 7:00 ～ 22日(月) 13:00	【後期】10月12日(土) 7:00 ～ 16日(水) 13:00
	履修登録しなかった学生がいた等、定員に空きが生じたクラスには、この期間に先着順で申し込みを受け付けます。	
履修登録・確認修正期間	【前期】4月19日(金) ～ 22日(月)	【後期】10月12日(土) ～ 16日(水)
	先着順申込受付期間 2 に履修が許可された科目が履修登録候補科目設定画面に表示されます。先着順申込ではまだ履修登録は終わっていません。履修登録確認・修正期間に必ず確定してください。	

※日程は変更されることがありますので、KULASIS の外国語予備登録ページで最新情報を確認してください。

(4) 上記(3)以外の E1・E3 科目

- ① (3) 以外の E1・E3 科目は、予備登録の必要がなく、また登録科目数の上限もありませんが、人数制限を行う場合があります。人数制限の指示があれば、それに従い所要の手続きをとってください。
- ② 全て学部 2 回生以上を対象に開講されます。
- ③ 「外国文献研究(文・英)-E1」や「臨床コミュニケーション(医・英)-E3」のように、E1・E3 科目のうち特定の学部を対象に開講される E1・E3 科目は下表のとおりです。履修人数に余裕があれば他学部の学生も履修することが可能ですが、開講学部への事前申込等が必要な場合があります。詳細は別途掲示等によりお知らせします。

対象学部	科目名	科目群	開講期	単位	備考
文学部	外国文献研究(文・英) A-E1	人社群	前期	2	文学部英語選択者必修科目(A・B各2単位計4単位)
	外国文献研究(文・英) B-E1	人社群	後期	2	履修条件の詳細はシラバスを参照すること
教育学部	外国文献研究(教育・英) I-E1	人社群	前期	2	教育学部英語選択者必修科目(I・II各2単位計4単位)
	外国文献研究(教育・英) II-E1	人社群	後期	2	各クラス定員40名
法学部	外国文献講読(法・英) I-E1	人社群	前期	2	法学部必修科目(I・II各2単位計4単位)
	外国文献講読(法・英) II-E1	人社群	後期	2	各クラス定員50名(事前登録が必要。定員に余裕がある場合のみ他学部学生履修可)
経済学部	外国文献研究(経・英) A-E1	人社群	前期	2	経済学部英語選択者必修科目(A・Bから計4単位)
	外国文献研究(経・英) B-E1	人社群	後期	2	複数履修可。同一科目で同一教員の履修を避けること。ただし、前後期各1科目のみ履修可。また、4単位を超えて履修することはできない。履修取消期間中の取消を認めない。各クラス定員35～50名(余裕がある場合のみ他学部学生履修可)
理学部	科学コミュニケーション(理・英)-E3	キャリア群	前期	2	理学部生は、キャリア形成科目群およびE科目として認定する。(理学部の卒業までに修)

	科学コミュニケーション（理・英）-E3	キャリア群	後期	2	得すべき全学共通科目の単位数一覧を参照すること。）
医学部	臨床コミュニケーション（医・英）-E3	キャリア群	前期	2	医学部医学科必修科目
薬学部	科学コミュニケーションの基礎と実践（薬・英）A-E3	キャリア群	前期	2	薬学部必修科目（A・B各2単位計4単位） 理科系学部学生のみ受講可能 各クラス定員50名（余裕がある場合のみ理科系他学部学生履修可）
	科学コミュニケーションの基礎と実践（薬・英）B-E3	キャリア群	後期	2	
工学部	Scientific English II-E3 (Presentation & Discussion)	キャリア群	通年	4	工学部地球工学科の国際コースと Kyoto iUP生はこれらの科目から4単位以上修得すること。
	Advanced Scientific English-E3 (Debate)	キャリア群	通年	4	

※これらの科目は平成28年度まで、総合人間学部以外が提供する英語として開講されていた科目です。平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合の取り扱いは、「IV. 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」(p.214～)を参照してください。